

多摩地域の在宅医療・介護・福祉・保健を支える

# ふれあい通信

2023  
11・12  
月号



Index

P2

特集

認知症との向き合い方

P6

ケアマネ相談室

File 15

たまふれあいグループ連携施設のご紹介

その16

P8

スタッフ紹介

たまレポ!

たまふれあいグループ

広報課

佐藤 緑



たまふれあいグループ  
Tama Fureai Group

# 認知症との向き合い方

今回の特集では、認知症の症状や認知ケアのために知っておきたい知識を整理し、認知症との向き合い方について考察していきます。



## 4大認知症とは

認知症は発症した原因や症状により、「アルツハイマー型認知症」、「レビー小体型認知症」、「前頭側頭型認知症」、「脳血管性認知症」の4つの種類に分類されます。認知症の症状は、脳の細胞が死滅、または、脳の働きが低下することによって直接的に起こる「中核症状」と、中核症状が影響して現れる「周辺症状」があります。4つの認知症では、記憶障害などの同じような症状が見られます。2つの認知症を併発するケースもあり、また、医師でも判別が難しい場合があります。そこで、4つの認知症の発症原因と特徴ある症状をまとめました。

### ●アルツハイマー型認知症

脳内に、アミロイドβ、リン酸化タウというたんぱく質が蓄積することで引き起こされる認知症です。食べたものではなく、食べたこと自体を忘れる「もの忘れ」が代表的な症状として広く知られていますが、記憶障害にもさまざまなケースがあります。

### ●前頭側頭型認知症

人間の運動、言語、感情を司る「前頭葉」や記憶、聴覚、言語を司る「側頭葉」の委縮により引き起こされる認知症です。これらの器官が正常に機能しなくなった結果「常同行動」が抑えられないといった症状が現れます。たとえば、お風呂には入りたくないという拒否行動や頑固さ、お店に行くと同じものを買わずにはいられないといった同じ行動を繰り返すこと、同じものを食べ続けるよう

### ●脳血管性認知症

脳梗塞や脳血管障害により、脳の一部に血が流れなくなり、その部分の働きが衰えてしまうことにより発症する認知症です。感情が高まって、大きな声を出して泣いたり、ひどく怒ったりするような「感情失禁」もよく見られる症状です。

### ●レビー小体型認知症

レビー小体という異常なたんぱく質の塊が、主に脳の脳皮質の神経細胞に

知っておきたい

## 認知症の治療薬



現在、認知症治療に使われる薬は、記憶障害や失語、機能障害などの中核症状に使われる薬と、徘徊、介護拒否などの行動症状や、抑うつや妄想、暴言など精神疾患に近い心理症状といった周辺症状に使われる薬があります。中核症状に対して処方される薬は、認知症の進行を遅らせるためのもので、根本治療薬ではありません。

### 認知症新薬の「レカネマブ」

2023年12月に販売されたレカネマブは、認知症を引き起こす原因物質のアミロイドβを除去でき、病気の進行そのものを抑える薬として話題になりました。臨床試験では、症状進行の27%抑制が認められました。投与の対象者は、軽度認知障害(MCI)の方、早期アルツハイマー型認知症の患者です。投与の方法は、服薬ではなく、2週間に1回、1時間程度の点滴となります。

### レカネマブの課題点

投与が可能な対象かどうかを判断するために、脳脊髄液検査(CSF検査)かアミロイド陽電子放射断層撮影(PET)にて、多くの検査を受ける必要があります。さらに、現在診断できる医師は全国に3,000名程度、施設では1,000か所程度です。

また、投与は高額で、体重50kgの人では年間約298万円、高額療養費制度を利用したとしても年間15万円程度かかります。投与が可能な患者様は限られていることに加えて、脳出血や脳浮腫などの副作用の可能性もあります。注目度が高いのは事実ですが、医師の間では誰にでも適応となる薬ではないという見解です。



## 軽度認知障害(MCI)の高齢者に起きる困りごと



MCIの段階の方は、日常生活を普通に送ることができると、生活支援が必要な方は多くはありません。しかし、理解力・判断力・集中力の低下が見られるため、ヒヤッとすることも。ご家族や関係者に気にかけて欲しい4つのポイントをご紹介します。

### くすり

薬の飲み間違い(違う薬を飲む・多く飲む)で急に体調が悪くなる、意識がなくなる。

### くるま

アクセルやブレーキの踏み間違いや、見通しの良いところでの事故を起こしてしまう。

### かね

詐欺や悪徳商法にひっかかりやすくなる。

### かじ

火の不始末を起こしやすくなる。





# 介入事例ケーススタディ

ケアマネジャーが対応した、または、現在対応中の認知症の事例について、支援が進んだケース、適切な支援がなかなか進まないケースをご紹介します。支援のプロセス、ケアマネ、医師の視点も参照していただき、ぜひ、ケーススタディとしてご活用ください。

## 患者様基本情報

年齢 夫：90歳 妻：85歳  
生活状況 二人暮らし  
診断 ご夫婦とも認知症

●**困難であった点**  
夫が妻の服薬を管理できない状態になったため、医師から「服薬できるようにしてほしい」との依頼を受けました。しかし、妻は訪問リハビリサービス以外、その他のケアサービスを受けつけない状況でした。

### ●工夫した点

●**ご本人の様子・状況**  
支援開始当初、妻は両肩の痛みや膝関節症での痛みが強く、ほぼ寝たきり状態でした。訪問診療で鎮痛剤を処方してもらおうと痛みがなくなりました。夫は認知症の初期段階で、家事などは可能でした。自宅に人が入ることに強い抵抗感もありました。少しずつご夫婦共に認知症が進行し、夫は買い物をしたことを忘れてしまうため毎日買い物に行く、冷蔵庫の中は賞味期限切れの物だけになる状況でした。

### ●上手くいった点

掃除をきっかけに信頼関係を作ることで、ご家族が希望する服薬、調理といったサービスを提供できるようになりました。

## 医師の見解

「何に困っているか」を具体的に伝えてみましょう。  
次の3つの視点をご紹介します。

### ①ご本人が何に苦痛を感じているか

ご本人が眠れない、便秘でお腹が苦しいなど、体が苦痛である状態が続くと不機嫌になり、怒りっぽくなるなど周辺症状が悪化します。苦痛を感じている点を具体的に伝えると、症状に応じた薬が処方され、周辺症状の緩和に繋がります。

### ②ご本人がどういったことで社会生活を営めなくなっているか

徘徊や暴言がひどくなった、マンションの管理人のところへ頻繁に行つて妄想を語るなど、社会生活に支障をきたしている、困っている状況を詳しく伝えましょう。

### ③ご家族がどのような点で介護疲れ、介護の限界を感じているか

夜中に何度も起こされるから眠れないといった身体的苦痛を感じているのか、暴言を吐かれたり、何度も同じことを聞いたりすることに精神的苦痛を感じているのかを具体的に伝えます。

## 適切な支援が進んでいないケース

### ●ご本人の様子・状況

人の名前は覚えていてもトイレの失敗があるなど、できている部分とそうでない部分が混在しています。分かっていることもあるため、できないことにイライラして精神的に不安定。妻に当たり散らすことが多く、ケアマネジャーが来ると怒り出すこともあります。

### ●工夫した点

お怪我で緊急搬送されたことをきっかけに、同居のご家族が夫にリハビリ目的でのデイサービス利用を提案。利用によりご家族のストレスが軽減され、レスパイト目的となった点です。

### ●困難である点

主治医から漢方の抑肝散を処方されていますが、怒りが収まる様子はなく、むしろ悪化しています。しかし、外来受診時は、ご本人はいたって穏やかで症状は出ません。本人の手前、認知症の症状を伝えることは難しく、また、アルツハイマー型認知症と診断されているため、医師にも相談しづらい状況です。

## 患者様基本情報

年齢 81歳(女性)  
生活状況 独居  
診断 アルツハイマー型認知症

### ●ご本人の様子・状況

ご家族は、ご本人の認知症を理解せず、受け入れていないため、介入に関して協力を得ることが難しい状況でした。また、ご本人は自宅に入ることには抵抗感があり、玄関に入るだけで30分以上かかることも。一方で、ご本人の機嫌が良好なときは、玄関をスツと開けてくれることもありました。

### ●工夫した点

なるべく同じヘルパーに同じ時間に行つてもらったことです。血圧測定や服薬介助、冷蔵庫にある出来合いのものを温めて、食事の提供ができるようになりました。

### ●困難である点

ご家族から、「調理をしてほしい」、「本人が調理ができるように関わってほしい」という要望がありました。しかし、ご本人は台所に他人が入ることを受け入れられないため、調理まで行うことはできません。ご

## 信頼関係を築いていったプロセス

ご担当のケアマネジャーに詳しく話をうかがいました。

Q ご本人は、人が自宅に入ることに強い抵抗感があったとのことですが、受け入れてもらえるようになった経緯を教えてください。  
A 最初はご夫婦共に、ケアマネジャーの必要性を感じていませんでしたので、電話をしても、「来なくていい」と言われることが多かったです。それでも、「玄関先でもいいです」と伝えて会いに行き、ご本人の体の痛みについて傾聴し、夫の困りごとを聞くようにしたところ、少しずつ受け入れてもらえるようになりました。

Q ヘルパーに「ご本人の気分を害さないところ」からケアに入ってもらったとのことですが、具体的に教えてください。  
A ご本人の目の前で他人が掃除をする「自分ができないことをしてもらっている」という劣等感にかられてしまつたらうと思ひ、お風呂やトイレなどご本人から見えないところから掃除に入ってもらいました。その後、ご本人と信頼関係ができてから、寝室の掃除の提案をしてもらいました。

Q 利用者様と信頼関係を築く上で大切にしていることは何ですか？  
A 聞く姿勢を大切にしています。途中で話の骨を折らないように聞くようにしています。

ご本人にとって台所はパーソナルスペースです。どうしたら上手くパーソナルスペースに入つていけるかは核心に迫る解はなく、地道に信頼関係を築いていくしかありません。関係性を築くために、困りごとを聞いたりしながら、さまざま方面からきっかけを探ってみるのはいかがでしょうか。

## ケアマネジャーの見解

家族にその状況をお伝えしても理解が得られないため、「ヘルパーが対応してくれない」という苦情にも発展しています。そのことがネックとなり、支援が進まない状況です。

## 編集後記

今回は「認知症ケア」について、4大認知症への理解を導入し、治療薬、事例紹介を通して、なかなか知るきっかけがなかった情報を中心にお届けしました。ご本人やご家族に、認知症ケアへと導く入り口として、本記事を参考にさせていただければ幸いです。



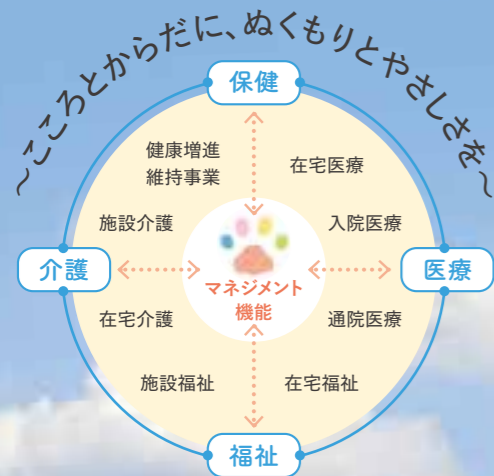
# 地域で暮らし、 地域で生きる ということ。

人々は地域で暮らし、地域の中で生きています。

世の中がどれほど発達したとしても、  
人々の暮らしは地域の中にあります。

そして、たとえどんなに科学技術が進んだとしても、  
人が人へ伝えるぬくもりや、やさしさを  
超えることはできないと考えています。

だからこそ、私たちは地域に徹底した  
こだわりを持ち続けます。



地域の人々の、  
よりよい生活と人生のために



たまふれあいグループは、医療・介護・福祉・保健事業を  
統合的に展開する医療法人グループです。

- たまふれあいクリニック  
訪問診療／専門外来／訪問リハビリテーション
- たまふれあい訪問看護ステーション
- たまふれあい居宅介護支援事業所
- たまふれあいの森  
健康相談／セミナー／健康チェック  
川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F
- たまふれあいグループホーム 枳形（医療・看取り対応型）
- ナース&ケアハウス ふれあい（看護小規模多機能型居宅介護）  
川崎市多摩区枳形6-19-8
- たまふれあいグループホーム 登戸新町（医療・看取り対応型）  
川崎市多摩区登戸新町186
- デイサービスふれあい  
川崎市多摩区生田3-18-2 アボードベア1F
- たまフレ！（障がい者就労支援事業所）  
川崎市多摩区登戸2519-1 ヨシザワ10ビル4F

## ケアマネ 相談室 File15

### テーマ 親族の介入

考えた！



居宅介護支援の  
ケアマネジャー  
Bさん

## ケアマネジャーの質問に多職種スタッフが答えます！

### ケアマネの 気づき

「サービスを中止したい」という理由や原因が親族の  
介入によって見えにくいものとなる。生活背景も含  
めて「本当の理由」がどこにあるのかを探し出すこと  
こそ、事態を解決に導く最初のステップです。

**ケアマネ A**  
奥様の弟はご主人と同じく  
糖尿病を患っているようなのですが  
「私も同じ病気だから大丈夫」と伝

**ケアマネ B**  
親族の介入によって事態の  
悪化を招くケースは残念ながら少  
なからず存在します。今回は治療方  
針やケアプランに対する要望ではな  
く「サービスそのものをやめたい」と  
いう極端な例なので、何かしらの理  
由や事情があるのかもしれない。

**ケアマネ A**  
ご利用者のご夫婦からサー  
ビスの利用をやめたいとの申し出が  
ありました。ご主人は認知症である  
ほか糖尿病の治療もあるため、イン  
スリンをはじめとした毎日の服薬指  
導が必要なので、ヘルパーは必要不  
可欠だと考えています。よく話を聞い  
てみると、奥様の弟から「薬は必要  
ない」といった根拠のない助言を受  
けていることが分かりました。

**ケアマネ A**  
そうですね。担当されてい  
る医師にも治療を中止した場合に  
かかる医療費についても説明して  
もらえるように協力を仰いでいき  
たいと思います。

**ケアマネ B**  
ご高齢の方に限らず、経済  
的に困窮している様子を知られ  
ないという心理が働いてしまうも  
のです。今回の場合、糖尿病の悪化に  
よって入院が必要になるとさらに経  
済的負担が増えしてしまうことな  
ども含めて説得する必要があります  
です。ご本人の健康にとっても、経  
済的にも最良の選択をとっていただ  
けるようにコミュニケーションを重  
ねる必要があります。

えているようです。また、ご夫婦が  
年金で生活しているため、なるべく  
お金のからない方法を薦めている  
様子が見受けられました。

## いつもありがとうございます！ たまふれあいグループ連携施設のご紹介

### たのしい家川崎溝の口

☎044-865-5321

認知症対応型グループホーム



神奈川県川崎市  
高津区上作延1丁目11-17  
2023年7月開設  
事業主体：株式会社ケア21

### 多世代交流ができる施設を目指して

たまふれあい  
クリニック  
鈴木 忠院長より  
おすすめ  
ポイント

2023年7月に開設した新しいグ  
ループホームです。食事もスタッ  
プさんの手作りで、栄養管理もしっ  
かりされており、アットホームな雰囲気  
とともに安心できる施設です。

入居者様やご家族の中に  
は、「これまでの生活ができ  
なくなってしまう」と懸念さ  
れる方もいらっしゃいます。  
そういった不安を取り除け  
るために、台所仕事やお買  
物に出かけるなど、入居者  
様のペースに合わせた支援  
をすることで、ご自宅に  
いるような感覚で過ごせるよ  
うに努めています。  
また、施設内の交流室にて  
地域のボランティア団体や福  
祉事業所と協力し、イベン  
トを開催しています。普段体験

できない体験から利用者様  
のいつもと違った一面を見る  
ことができ、新しい発見があ  
ります。  
現在、月に一度「喫茶 たの  
しい家」を開催し、地域の皆  
様との交流を深めています。  
グループホームなので高齢者  
向けの施設ですが、子どもた  
ちや障がいのある方も交  
流し、困っているときに来ら  
れる多世代交流の場にした  
いと考えています。いつか、交  
流室を一日中開放し、近所の  
皆様がお茶をしながら交流  
できる場となることを目指  
しています。

困ったときに訪問できる  
もう一つの家庭のような  
施設をつくります



管理者(介護福祉士) ▲  
すがた まさよし  
杉田 匡旨さん



医療法人メディカルクラスタ TEL:044-931-3380

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F 【看護師・介護職募集中!】



# たまレポ!



しんどう ゆり

今月のインタビュー 地域相談室 相談員

進藤 優里

たまふれあいグループ  
広報課  
さとう みどり  
佐藤 緑



編集者としての経験を生かして、地域の介護・医療に役立つ情報を発信していきます!

## こんにちは! たまふれあい地域相談室です。

今回は、広報課に1月に入職する佐藤を紹介し  
ます。佐藤は小学4年生と2年生の男の子を育てる  
お母さん。以前はサービス関連の営業職に就いて  
いましたが、子育てを機に転職し、編集者として教  
育分野である受験情報の記事制作をしていまし  
た。佐藤は編集の仕事に就くまで、文章を書くのが  
苦手だったようですが、仕事で携わるうちに上達し  
たとのこと。編集者として自分の知らない分野を学  
び、読み手にとって何が役立つ情報かを考えなが  
ら、取材して発信することにやりがいを感じてい  
るそうです。

佐藤が当グループに入職するきっかけは、母か  
ら聞いた祖母の介護体験でした。佐藤の母は持病  
があり介護に行き詰まっていたところ、担当のケア

マネジャーからテキパキとサービスの提案をして  
もらい、とても助かったとのことでした。次第に自  
身の持つスキルで、介護職や医療職を応援したい  
と思うように。その後偶然にも、住まいに近い地域  
密着・貢献を目指す当グループを知り、入職を決  
めたとのことでした。

今後については「医療の知識はありませんが、多  
くの方と関わり勉強して、皆さまのお役に立てる情  
報発信をしていきたいです。介護・医療分野の魅力  
を伝えるお手伝いをしたいと思っています」と語る  
佐藤。皆さまと交流を深めながら、介護・医療分野、  
地域のこと、グループの情報を発信していきます。

お掃除ロボットに  
おもちゃを取り付ける次男。  
子育ては大変だけど、  
子どもたちのおふざけに  
大笑い! 疲れも  
吹っ飛びます



次男が写真にシワを  
描いて「おばば～」と  
言います。悲しい...



次男がiPadで描いた  
絵をTシャツにした  
ところ大喜び!



長男がミニバス  
クラブに所属。  
練習にも  
付き合います

地域相談室

## イケダのっふやき



2023年、みなさんはどんな1年でしたか?  
私は仕事が忙しくてあっという間だったなあ...  
と感じています(>\_<)  
年末は実家で過ごし、こたつに入りながら家族  
でみかんを食べたりと、リラックスできました♪



2024年はランニングを始めるなど、運動するこ  
とを目標に頑張ります! 今年もふれあい通信  
をよろしく願いいたします<m(\_)\_m>

(地域相談室 相談員 いけだ 池田あゆ)



ご相談は下記の地域相談室までお電話ください

044-931-0220

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1763  
ライフガーデン向ヶ丘2F